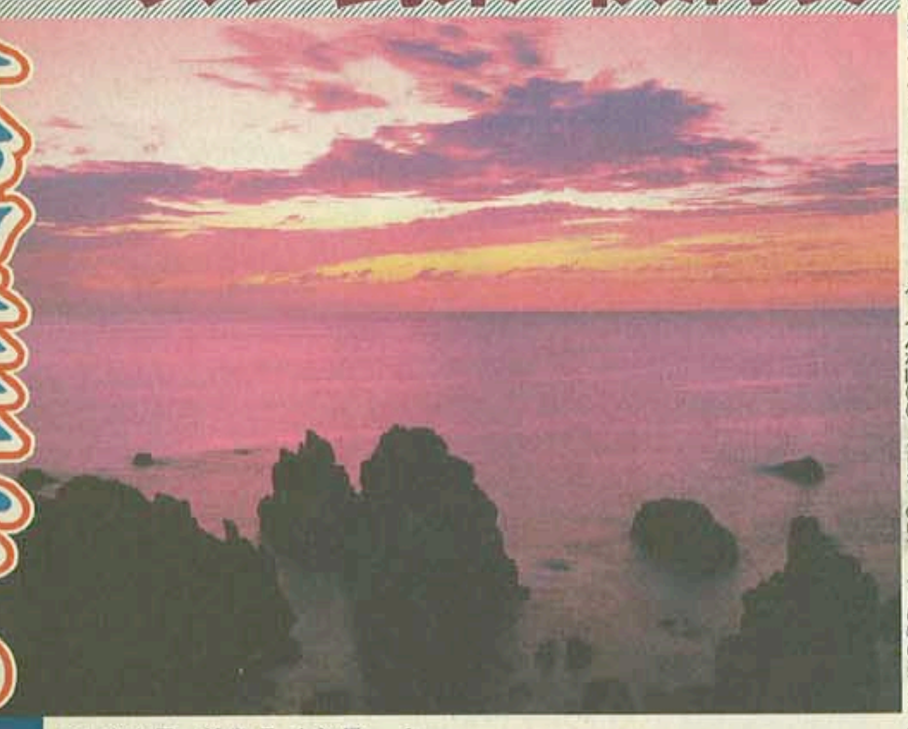
日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS

紅葉シーズン到来 秋満喫

優雅なひとときを

「行楽の秋」「読書の秋」「食欲の秋」―。秋のすばらしさを形容する言葉は数え切れないほど多い。紅葉は今からが見ごろ。大自然に囲まれながらお気に入りのポイントで読書ざんまいなんて、実に優雅だ。カップルで楽しめるお勧めの絶景ポイント、サンセットポイントを紹介しよう。足代わりになるのがダイハツの新車「ネイキッド」。シートの取り外しが可能で、スペシャルシートに早変わり。さあ出掛けてみよう。



サンセットポイント

ロマンチック

だんだん肌寒くなり、物悲しさが増してくるこの時期。ロマンチックな気分に浸りたくなる季節でもある。そんな時には、夕日を見に行ってはいかがだろう。真っ赤な太陽がゆっくりと海にのみ込まれていくさまはだれもがホッと心なごむ光景だ。この時期、凛(りん)とした澄んだ空気の中で、夕日は特に美しく輝いている。中でもすでに冬の装いを見せる北海道や東北の日本海に面した地域では、海面を黄金色に染めながら小さく消えていく夕日を見ることができる。

秋田県西部に位置する男鹿半島の最北端にあたる「入道崎」。ここは、ただただ広がる水平線に沈む夕日が何よりも美しく見える絶好のサンセットポイントだ。あたり一面なだらかな草原が広がり、のんびり眺めるには最適。近くの旅館やホテルから温泉あがりの浴衣姿のまま見に来ている人や、三脚を立てて日の入りの瞬間のシャッターチャンスを狙う人、いすを持ってきてゆっくりと観賞する人などさまざまだ。

国定公園にも指定された景勝地の男鹿には、このほかにも夕日観賞に抜群のポイントがいくつもある。355㍍と低い標高ながら半島全域や眼下に八郎潟が広がる「寒風山」、深い森の男鹿半島最北端の入道崎の夕景。なだらかな草原に腰を下ろしてのんびり観賞できるのが魅力〈©JTBフォト〉

ホッと心なごむ光景

多摩湖で出合った美しい落日。オレンジ色に染まる。右端は西武ドーム

中でひっそりとたたずむ火山湖を眺める「八望台」などからもあかね色に周囲を染めながら落ちゆく夕日を見ることができる。

自然の中で見る夕日が美しいのはもちろんだが、都心の高層ビルやちょっと足を延ばして関東近郊で夕日を見るのも悪くない。東京都と埼玉県の県境に横たわる関東の水がめ、「狭山湖」(山口貯水池・現在は周辺工事中)と「多摩湖」(村山上・下貯水池)。狭山丘陵地帯にあり、この時期、周辺の木々は少しずつ色の違いを見せ始めている。

夕方4時半ころから、あたりはあかね色に染まり始め、背後から光を受けた木々と西武ドームのシルエットが浮かび上がってくる。夕日は次第に多摩湖の湖面をキラキラ輝かせ始め、その影は長く伸びながら、そしてまたゆっくりと短くなって消えていき、色鮮やかな太陽のショーが終わる。

寒いからと閉じこもっていないで、今の時期だからこそ自分だけのお気に入りの「サンセットポイント」を探してみてはいかがだろうか。

◆おススメのサンセットポイント10選～東日本編～◆

	地名	所在地	ひとこと
1	野寒布（のしゃっぷ）岬	北海道稚内市	対岸には利尻島。水平線に沈む夕日が利尻富士を赤く染め上げ、幻想的なムードが漂う北の景勝地だ
2	栄浦駐車公園	北海道常呂町	道内最大、全国でも3番目に大きいサロマ湖畔にあり、大きく真っ赤な太陽が湖の向こうに沈む眺めは雄大だ
3	地球岬	北海道室蘭市	晴れた日には恵山岬や下北半島が望め、180度に広がる水平線は地球が丸いことを実感させてくれる
4	入道崎	秋田県男鹿市	男鹿半島の最北端に位置し、白黒模様の灯台が見守る日本海に沈む夕日を広い草原で寝転んで見られる
5	寺泊	新潟県寺泊町	南北16㌔におよぶ長い海岸線から眺める日本海に沈む夕日はきえぎるものがまったくなく美しい
6	戦場ケ原	栃木県日光市	奥日光の標高約1400㍍の地点に広がる面積21㌶の高層湿原。さまざまな高山植物の宝庫
7	サンシャイン展望台	東京都豊島区	都民でも登ったことがない人も多いのでは？ 地上240㍍の高層ビルから見る都会の夕日もオツなもの
8	安房勝山	千葉県鋸南町	遠く富士山、伊豆大島、そして勝山港正面の浮島がシルエットを描き、夕焼けに染まる房総の海岸は詩情たっぷり
9	多摩湖（村山貯水池）	東京都東大和市	東京と埼玉県の県境、狭山丘陵地帯にある。隣の狭山湖（山口貯水池）とも飲料水として利用されている
10	堂ケ島温泉	静岡県西伊豆町	駿河湾に沈む夕日を眺めながら露天ぶろに入ることができ、空気の澄んだ冬は特にきれいに見えるのでおススメ

絶景ポイント

那須連峰一望

都宮道路清滝ICで降り、4・5㌔ほど走ると名所のいろは坂にさしかかる。48のカーブが連続することから名づけられた急坂で、各カーブごとに「い」から「ん」までの名前がつけられている。上りの第一いろは坂は「い」から「ね」まで、カーブがきつく、急こう配の下り戦は「な」から「ん」まで。いくつのカーブを通過したかがわかるようになっている。

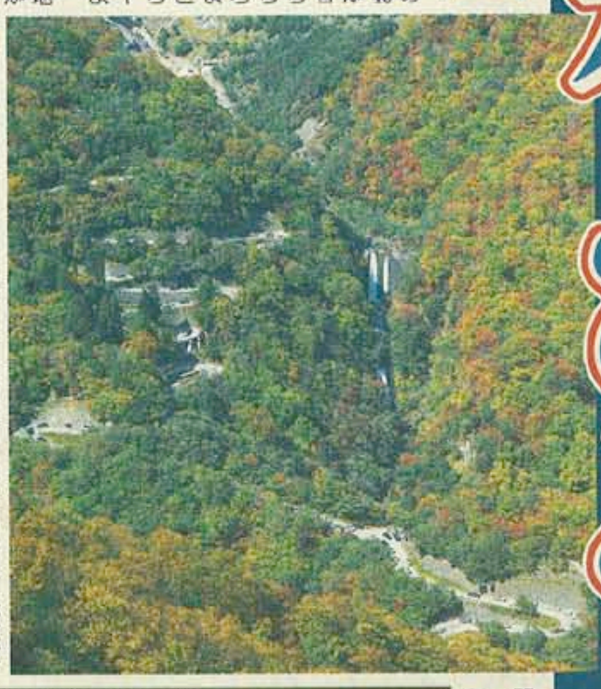
途中の標高1274㍍地点に景勝地の明智平が広がる。駐車場前にある明智平レストハウスからは、関東平野や筑波山、那須連峰が一望できる。さらにロープウエーを利用して標高1373㍍の展望台に上れば、華厳の滝、その後ろに中禅寺湖が望める。さらに右手には男体山が迫る。

国道120号線をさらに進み、いろは坂終点を右折し500㍍ほど行くと、右手に日光三名瀑（めいばく）の1つとして知られる華厳の滝が見えてくる。満々と水をたたえた中禅寺湖の水が、毎秒3㌧、幅7㍍、高さ約100㍍の断がいから滝つぼに落下するさまは迫力満点だ。さらに国道120号線に戻り、中禅寺湖の北岸沿いを走ると竜頭滝と出合う。全長210㍍で、途中から二手に分かれて豪快に落下する。滝の岩肌は男体山から流れ出した溶岩で形成され、階段状になっている。水しぶきがきれい。

北進し、赤沼茶屋まで足を延ばすと、左手に戦場ケ原が目に飛び込んでくる。標高1400㍍に広がる大湿原。赤松茶屋、三本松茶屋に駐車場がある。三本松茶屋の駐車場に車を止め、国道を渡ってすぐの戦場ケ原展望台のテラスからの眺望は見事だ。

間もなく厳しい冬を迎える北海道美瑛町

48の連続するカーブ いろは坂



関東の紅葉といえばまず、日光いろは坂（写真は第一いろは坂）・滝の流れが情緒を添える

◆おススメの絶景ポイント10選～東日本編～◆

	地名	所在地	ひとこと
1	美瑛町一帯	北海道美瑛町	4つの展望公園をはじめ、パッチワークのように連なる丘陵地帯はCMにも登場するなど北海道らしい風景だ
2	中島公園	北海道札幌市	市内で最も歴史の古い公園。都会のオアシスとして親しまれており、日本の都市公園100選にも選ばれている
3	奥入瀬（おいらせ）渓流	青森県十和田湖町	森の木々と清冽(れつ)な流れが織り成す風景は日本でも有数の渓流美。10を超える滝が連なる瀑布街道は必見
4	毛(とど)ケ崎	岩手県宮古市	本州の最東端にあたり、映画「喜びも悲しみも幾年月」のモデルとなった夫婦はこの岬の灯台に7年間勤めた
5	鳥海山	山形県・秋田県の県境	標高2230㍍。眼下に広がる象潟の町並みと日本海、山々の織り成す大パノラマは東北一の名山ならでは
6	出雲崎	新潟県出雲崎町	にいがた景勝100選の第1位に選ばれた地だけに、その景観は折り紙付き。松尾芭蕉も歌に残した景勝地だ
7	昇仙峡	山梨県甲府市	奇岩が続く中でもひときわ高くそびえる覚円峰が最大の見どころ。特に白い岩肌と紅葉のコントラストが美しい
8	日光周辺	栃木県日光市	関東で紅葉の名所といえばだれもが思い浮かべる日光。いろは坂をはじめ竜頭滝、華厳の滝など景勝地が点在する
9	横浜コスモワールド	神奈川県横浜市	ネオンが作り出す夜景だって忘れちゃいけない。次々に色を変える大観覧車は乗っても遠くから眺めても美しい
10	三保松原	静岡県清水市	日本一の富士山は東日本では、はずせないポイント。松原越しに見える富士山は古くからの東海道の名物風景

ダイハツ「ネイキッド」

シートを外して高原でひとやすみ

軽乗用車では初めての簡単脱着式リヤシート（左右独立式）。だから車内も広々、外したシートは車外でこんな使い方もできる。撥水（はっすい）加工済みなのがうれしい

脱着が簡単

後部座席シートを取り外す、という発想の原点はヨーロッパにあった。買い物は自分で運ぶが常識のヨーロッパでは、後部シートを取り外せるクルマが多い。それを日本に取り入れようと考えたのがダイハツ工業製品企画部課長の合川宏氏だ。

「まず、脱着が簡単であること、そして軽いこと、この2点がクリアされない限り日本では普及しないと考えました」と語るが、合川氏が最も腐心したのが「シートの軽量化」だ。

通常、車のシートの底には「パン」と呼ばれる鉄の板が入っている。それを取り除くことで軽量化を図り、「約8㌔㌘」という、片手で持ち運びのできる重さ」（合川氏）を実現した。

大自然の中でのんびり読書の秋

◆「ブリジット・ジョーンズの日記」ヘレン・フィールディング著、ソニー・マガジンズ刊、本体価格1400円十税

あらゆる都市の女性が友人に選んだブリジット・ジョーンズ、彼女の紆余曲折（うよきょくせつ）に満ちた日々の記録は、読みだしたら止まらない！

◆「ローリン・ヒル物語」マーク・シャピロ著、扶桑社刊、本体価格1048円十税

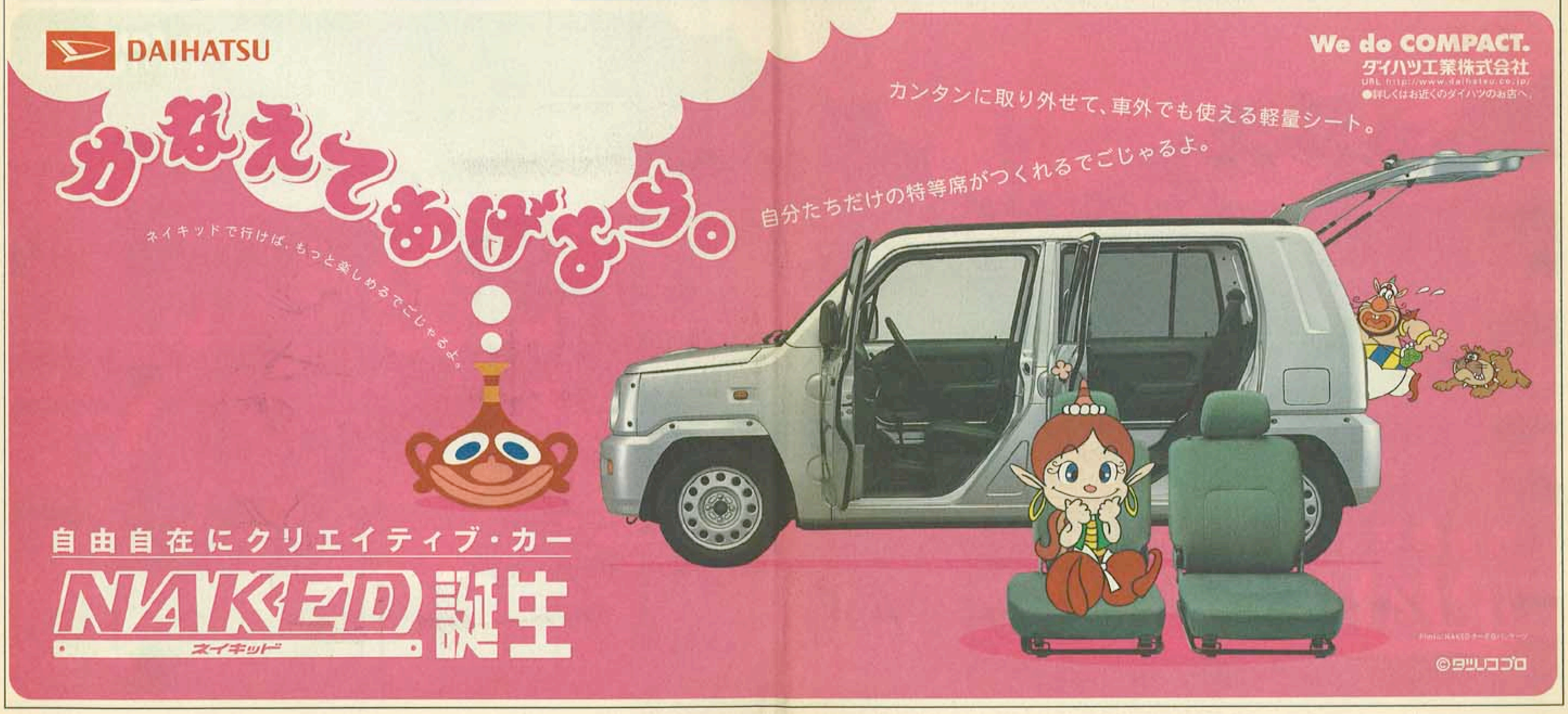
グラミー賞5部門受賞の快挙を達成した今世紀最後のビッグスター・スーパースターの知られざるエピソードと最新情報が満載。

◆「大人になったのび太少年」木全公彦・林公一著、宝島社刊、本体価格1500円十税

のび太、星飛雄馬など、昔懐かしいアニメの主人公は、どのような大人になるんだろう？この本を参考にわたしたちの未来予想ができるかな。

◆「ターゲット」樋周平著、宝島社刊、本体価格1500円十税

ウイルス、日本、米軍基地…恐怖のわなが仕掛けられた。「Cの福音」の樋（ひ）周平が放つ朝倉恭介シリーズ最新作。じっくりと読みごたえのある作品。

◆「What's AIBO」AIBOプロジェクト編、扶桑社刊、本体価格1524円十税

自律型エンターテインメントロボットAIBOのオフィシャルブック。こんなかわいいロボットを連れて、ドライブを楽しんでみてはいかが？